

## 光市立三井（みい）小学校で3年生が「森の学校」を実施！

令和6年12月5日（木）、光市立三井小学校の体育館で3年生児童25名を対象に、森の話及び釘打ち体験、県産スギの椅子づくり等の「森の学校」を実施しました。

この取組は、次代の担い手となる子供たちに、ふるさとの森林の大切さやそれを支える林業の重要性等の理解を深めてもらうため、「やまぐち森林・林業未来維新カレッジ」研修の一環として、光市林業研究会（会長：森戸芳史、会員21名）が実施したものです。

始めに、林研会員による森のお話です。林研会員が、森林の重要性の話をしてから、児童らは、箱の中に入れてある葉っぱや木の実を当てるクイズにチャレンジしました。

次に、木工体験です。ノコギリを使わずに釘打ちのみによる椅子の製作です。

まずは、角材に釘を打ち込む練習をしました。「楽しいから、ずっと打ち続けたい！」という児童もいました。

練習が終わると、本番の椅子づくりです。会員が1工程ずつお手本を示し、児童らは、見よう見まねで組み立てていきました。自らの釘打ちによる振動で、いつの間にか木がずれたまま打ち込み、会員が釘抜きを使って修復することもありました。

最後は、サンドペーパーで磨いて完成です。よほど釘打ちが楽しかったのか、早く完成させた児童は、また角材に釘を打ち込んでいました。



箱の中身は何か？



椅子づくり